

第2期

大村市観光交流まちづくり計画

令和8年度～令和17年度

令和8年4月策定

1 計画の目的

本計画は、第6次大村市総合計画の基本目標4「活力に満ちた産業のまちづくり」において、観光面の政策である「歴史や自然を活かした観光のまちづくり」を実現することを目的とします。

2 計画の位置づけ

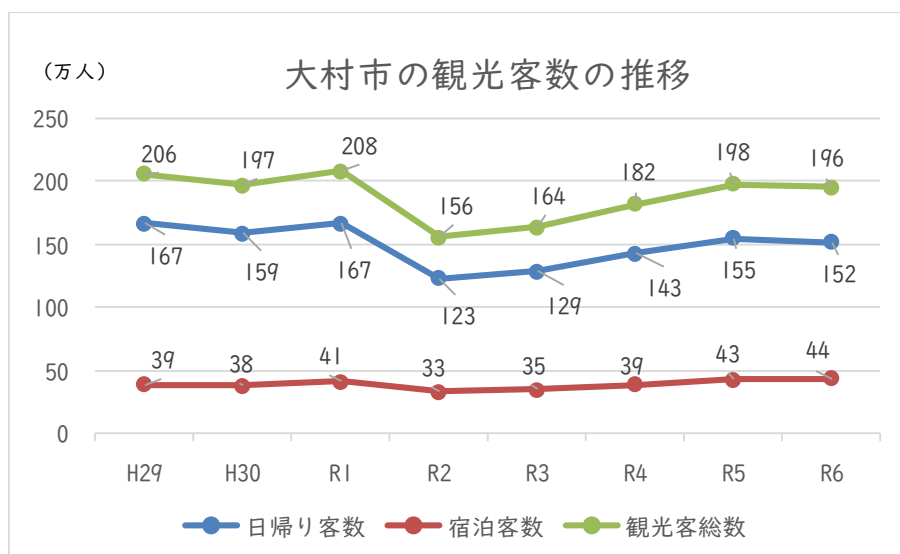
本計画は、第6次大村市総合計画を上位計画とし、長崎県観光振興計画や大村市の関連計画と連携しながら、本市の観光事業を官民一体となって推進していくための指針として策定します。

3 計画期間

この計画は令和8年度を初年度とし、令和17年度を最終年度とする10年間を計画期間とします。なお、社会情勢や観光を取り巻く環境等の変化を踏まえ、より効果的な取組を推進するため、5年後の令和13年度に計画の見直しを行います。

4 大村市の観光客数の推移

大村市における観光客数（日帰り客・宿泊客を含む）の推移は、以下のグラフのようになっています。令和2年の新型コロナウイルス感染症拡大により大きく減少しましたが、その後は徐々に回復傾向にあります。令和6年は、令和5年と比較するとイベントの反動減などから、観光客延べ数は約2.4万人の減となっています。



5 大村市観光の現状分析

【大村市観光の強みと弱み】

これまで策定してきた観光計画や統計データ、大村市観光交流都市^{まち}づくり推進協議会等での協議を踏まえ、大村市観光の現状をSWOT分析※により整理しました。

内的環境

強み Strengths

- 桜や花菖蒲など、四季の自然資源が豊富
- 日本初のキリシタン大名など、特徴的な歴史をもつ
- 夏越まつりや郡三踊など、豊かな伝統や文化がある
- 高速交通“三種の神器”が揃い、アクセス性に優れている
- コンパクトで暮らしやすい都市のづくり
- ポートレースやミライオンなど、特色ある市の施設

弱み Weaknesses

- 観光地としての認知度の低さ
- インバウンド対策の遅れ
- 「素通りのまち」と言われるなど、観光資源の乏しさ
- 宿泊施設の少なさや二次交通の脆弱性
- 事業者の高齢化や観光ガイドの減少など、観光人材の不足

外的環境

機会 Opportunities

- 西九州新幹線の開業
- 韓国直行便の開通など、インバウンドの需要回復
- デジタルの普及
- 地方創生への後押し（第2世代交付金など）
- ワークेशनやエコツーリズムなど、新しい観光形態の拡大

脅威 Threats

- 将来的な人口減少や高齢化などによる担い手不足
- 長崎・佐世保の地名度
- 観光の低価格・短時間志向
- 観光客の嗜好性のめまぐるしい変化
- 気候変動や災害のリスク

【SWOT分析からみえてきた大村市観光の方向性】

分析結果

- 歴史や自然資源を観光資源とするための対策が必要 → 基本方針1
- アクセシビリティを活かした日帰り観光客の誘致や
利便性を活かしたコンベンションの誘致が可能 → 基本方針2
- 国際線の再開を活用したインバウンドへの対策が必須 → 基本方針3
- 持続可能な観光の基盤づくりが不可欠
- デジタル化を含めた戦略的なプロモーション活動が必要 → 基本方針4

6 大村市観光の現状分析

基本方針1 歴史や自然等を活かした観光地の魅力向上

本市の歴史・文化や豊かな自然を活かした多様な体験プログラムを開発し、着地型観光を推進します。また、野岳湖周辺地区を中心とするアウトドアアクティビティの充実を図り、県内外からの観光客誘致に努めます。

目標	単位	基準値（R6年度）	目標値（R12年度）
観光客数	人／年	1,961,799	2,340,000

※観光客数には、日帰り客と宿泊客の両方を含む

基本方針2 観光イベントやコンベンション誘致の強化

「おおむら花まつり」や「おおむら夏越まつり」など、既存のイベントの効果的なPRを行い、観光客の誘致に努めます。また、関係団体と連携し、各種会議やスポーツ大会の誘致を強化します。

目標	単位	基準値（R6年度）	目標値（R12年度）
観光イベント来場者数	人／年	526,414	628,000

基本方針3 観光基盤の整備

自然を活かした新たなアウトドアの拠点として、野岳湖公園のリニューアルを推進するほか、国内外からの観光客が安心・快適に過ごせるよう、Wi-Fi環境やトイレ、駐車場などの整備を進めます。シェアサイクルの利用促進等により二次交通を強化し、住民・観光客双方の利便性を考慮した基盤づくりに努めます。

目標	単位	基準値（R6年度）	目標値（R12年度）
外国人宿泊者数	人／年	2,832	3,600

基本方針4 情報発信・プロモーション活動の強化

国内外からの観光客誘致のため、ホームページやパンフレット、ガイドブックなど多様な広報媒体を整備します。インバウンド対応のため、多言語化やデジタル化を含めた効果的な情報発信を実施します。

目標	単位	基準値（R6年度）	目標値（R12年度）
市ホームページ（観光関連）アクセス件数	件／年	260,558	310,000

7 大村市観光振興の基本施策

基本方針1 歴史や自然等を活かした観光地の魅力向上

基本施策1 体験・交流型観光の推進
①体験コンテンツの充実 ②まち歩き観光の推進 ③地域間の交流の促進
基本施策2 自然を活かした観光の推進
①花のまちづくりの推進 ②フォレストアドベンチャー・おおむら長崎の充実 ③グリーン・ツーリズムの推進
基本施策3 歴史・文化資源の活用
①キリシタン関連史跡の活用 ②文化財の観光活用 ③長崎街道の活用
基本方針4 食を活かした観光の推進
①食のイベントの開催 ②特産品の販路拡大
基本方針5 新たな観光資源の発掘
①大村湾の観光活用 ②インフラツーリズム等の検討

基本方針2 観光イベントやコンベンション誘致の強化

基本施策1 まつりの充実
①花まつりのブラッシュアップ ②おおむら夏越まつり・おおむら夏越花火大会の充実 ③おおむら秋まつりのブラッシュアップ ④長崎街道大村藩宿場まつりの充実
基本施策2 多様なイベントの推進
①地域のイベントの支援 ②ミライオンやボートレース場でのイベント開催 ③全国から集客する大型イベントの開催
基本施策3 コンベンション等の誘致の強化
①各種コンベンションの誘致 ②スポーツ合宿等の誘致 ③修学旅行や教育旅行の誘致

基本方針3 観光基盤の整備

基本施策1 国内外からの観光客受入体制の強化
①観光案内の基盤強化 ②観光交流拠点の機能強化 ③野岳湖公園のリニューアル ④大村公園の魅力向上 ⑤安全・安心への取組
基本施策2 歴史・文化的な観光資源やまちなみの保全
①景観の保全 ②文化財等の保存・継承 ③公園環境等の整備
基本施策3 観光アクセスの充実
①自転車活用の推進 ②バス路線等の維持確保 ③新幹線等の充実 ④空港利用の促進
基本施策4 観光推進体制の強化
①官民連携した取組の促進 ②広域連携による観光の推進

基本方針4 情報発信・プロモーションの強化

基本施策1 多様な情報発信ツールの活用
①ホームページの充実 ②SNS等の活用
基本施策2 戦略的プロモーションの展開
①キャラクター等を活用したプロモーションの促進 ②メディア等を活用した観光PR ③観光DXの推進